

I

【出題のねらい】

人はしばしば親や家族、社会からの期待に応えるために、自分の本心を隠したり、本当の自分を抑えたりしてしまう。家族や社会の一員として周囲の環境に合わせつつ、どうしたら自分らしく生きられるのか。本問では「本当の自分を大切にしよう」というメッセージをわかりやすく伝えるために筆者が挙げている具体例を的確に捉えられているかをまずは問1で問い、問2では全体のメッセージの理解を、身近な例に結びつけながら表現できるか。英語の理解力、読解力とともに、要旨を端的にまとめた上で自分の考えを自らの体験をまじえて書く文章構成力、表現力をみた。

【講評】

問1

(1) この問題では Arthur が①「好奇心旺盛な少年であった」②「親の圧力で好奇心の芽が潰され、興味を失いかけた」③「大学時代に知的好奇心が満たされた」という3点が捉えられているかを問うたが、第3段落に書かれた Arthur の少年時代のこと、家庭内でのエピソードから①②のみを記述し、③について触れていない解答が目立った。What happened to him in the end?という問いをヒントにして、最終的にどうなったかが書かれている第4段落の内容まで踏み込んで解答して欲しかった。“nature”という語に「自然」でなく「本質」といった意味があることを知っているか、“coherent” “rekindle”などの単語を知らなくても文脈から想像する力があるかが試されたともいえる。

(2) 問いの前半の Barbara がどのようにして社会に溶け込んだかについては概ねよく書かれていた。ただし、他の学生と違う点について、第5段落の半ばにある “They don't have as much insight as Barbara had, and they don't even realize they are suppressing their inner self.” をもとにして、適切に伝えられている答えは多くはなかった。キーワードをつなぎ合わせた局所的な読み方をするのではなく、Barbara に関わる複数行にわたる記述の内容を全体として捉え、自分の言葉に置きかえて表現するというような姿勢が望まれる。

問2

概ねよくできていた。本文の内容を踏まえながら、自分の考えや体験を適切に論じている答案が多く見られた。一方で、本文の内容から逸脱した答案も散見された。

II

【出題のねらい】

複数の大学に合格したという友人からのメールへの返信で、大学の選択についてアドバイスをする、という場面設定のライティング問題である。都会の大学か田舎の大学かという選択が求められているため、2つのタイプの大学を比較・対照しながら、どちらが望ましいかを明示し、その選択を支える理由と具体的な説明を明確な英語で表現していること、論旨が明解で全体としてまとまりのある英文で書かれていることが求めている。また返信の相手が「友人」であるという点を念頭において自然な文体で表現されている必要もある。

【講評】

Three assessment criteria were applied to this question:

- a . Contents
- b . Conventions
- c . Word count should be up to 100

Contents:

We expect two kinds of information from the applicants:

- i . To write in favor of attending **either** a university located in the rural area **or** one located in the city
- ii . To provide at least two reasons for their choice.

Conventions:

Conventions apply to the following:

- i . Formatting, including indentation, paragraphing, etc.
- ii . Adequate spelling and punctuation
- iii . Adequate grammar
- iv . Transitions at the beginning of each “reason” for their choice
- v . Adequate conclusion.

Word count:

All applicants were expected to write up to 100 words in English.

Observations during grading:

- i . About half of the applicants wrote excellent compositions and received excellent grades.
- ii . Most of the applicants understood the question and addressed it very well.
- iii . The applicants who did not understand the question were very few.
- iv . Few applicants wrote less than 50 words.